

第7回佐波川かわまちづくり協議会議事録

日 時 平成29年6月2日(金)14:00～15:20

場 所 市役所1号館3階南北会議室

《出席委員》

会 長 (松崎地域自治会連合会会長)	土 井 章
副会長 (右田地域自治会連合会会長)	河 村 均
佐波地域自治会連合会会長	中 林 堅 造
華城地域自治会連合会会長	原 田 義 久
玉祖地域自治会連合会会長	内 田 元 夫
松崎地区青少年育成連絡協議会会長	河 杉 憲 二
右田地区青少年育成連絡協議会会長	伊 藤 賢 治
華城地区青少年育成連絡協議会会長	和 田 雅 夫
ホテルの夕べ実行委員会	中 司 達 美
佐波川に学ぶ会	吉 松 忠 直
水の自遊人しんすいせんたいアカザ隊	今 井 くに子
防府市立右田中学校校長	岡 本 昭 彦
防府土地改良区	屬 宣 義
佐波川漁業協同組合	清 水 玉 夫
防府市民	浅 井 典 子
防府市民	田 中 里 美
防府市民	田 村 栄 良
防府市民	藤 井 康 太 郎

《欠席委員》

佐波地域青少年育成連絡協議会会長	雪 村 和 史
------------------	---------

市長 松 浦 正 人

土木都市建設部長 友 廣 和 幸

土木都市建設部次長 佐 甲 裕 史

土木都市建設部次長 伊 崎 知 行

事務局 河川港湾課 藤本課長、武村課長補佐、本田技術補佐、

山久係長、西崎主任、小川主任

協議会概要

(会長)

ありがとうございました。

ただいま、事務局から華城・玉祖エリアへの区域拡大等の整備計画についての説明がありましたが、皆様方からご意見・ご要望などがありましたら、何でも結構です。承ればと思います。よろしくお願いします。

(A委員)

よろしくお願いします。

玉祖地区ということが前回から出ています。新橋側と大橋橋側で少し離れているので、拡大図を見ていると中間あたりに今、閉鎖されているトラックステーションがあるが、上手に活用して中間点として計画に含めてはどうか。持ち主がいらっしゃるので、どうなるかはわからないが、あのまま空き地になるのはもったいない。そこに車で来られて駐車場に停めて、自転車に乗り換えたり、あそこから佐波川に下りて行ってカヌーで水辺に出るとか中間にあると上流にも下流にもどちらにも行けるので、便利がよいのではないかという気がしている。

(会長)

トラックステーションがこの地図に入っているかどうかかわからないが、利用することが可能なかどうか、誰かの財産でしようからその辺を事務局として検討することが可能なかどうかを含めて、説明できればお願いします。

(事務局)

トラックステーションについて位置的にA委員がおっしゃられたことは理にかなっていると思いますが、トラックステーションが去年の4月に今のような閉鎖の状況になりまして、今後の活用について持ち主がトラック協会等であるわけですが、空地の利用については決まったものはございません。市としても市が直接かかわるというのではなく、なんとかできないかという部分では検討していますが、今段階では見通しについてはなかなか言えない状況です。今のご意見も踏まえて、内部で検討する要素のひとつにはなるかと考えております。

(会長)

はい、今の状況はそういったところではあるようですが、A委員、よろしかったでしょうか。

(A委員)

はい。わかりました。

(会長)

他にございませんか。

地元としては、B委員、C委員どうですか？何かご意見等がありますか。

(B委員)

これは意見ではないが、先日神社の関係でお祭りがあって、トイレを造って貰う事は大変いいことなので、よろしくお願い致しますということでした。

神社庁の許可などは取らなくても良いのか？

(事務局)

はい。今回、この内容で承認いただければ、国の方に提出する中で関係部署や関係機関と調整を進めていこうと考えている。

(C委員)

まず、トラックステーションの話が出ましたが、パドルエリアは左岸の方から水辺に降りるようになっているが、実は右岸のパドルエリアの左の角の方に須川・剣川の合流部分おそらく県管理になっているところだと思いますが、そこから上流に向かっていきまして、漆橋というのがあります、そのあたりまではカヌーで入っていくにはちょうどいい水深と周りに木も生えているので、子供さんからしたらアドベンチャー的な体験ができるのではないかと考えておりました、今後パドルエリアとして、国や県と調整は必要と考えるが、使えるものなのか。その辺を活用するのもひとつあるのではないかと考える。

それともう一点、今回二六台を入れていただくことは、非常にありがたいことであります。実は、市に土地を寄付しているわけでありましたが、管理自体は玉祖地域の住民が管理するということで、清掃や草刈、伐採等をおこなっていますが、できるだけ上がってきていただいた方に眺望の良い景色を楽しんでいただけるようにということで、駐車場が山頂のすぐ下に用意してありますので、車で行って一分間ほど階段を上がっていただければ、すぐに景色が見える頂上にいけるようになっています。今後、私どもとしては、今回の計画には含まれていませんが、座って眺めるためのベンチとか、ここでくつろいでいけるような施設を地元もしくは市と協力して設置していければと考えております。

最後に、堤防に彼岸花を植栽していただきたいとお願いいたしました。今年は無理かと思いますが、来年の秋頃、ちょうど秋分の日ぐらいに玉祖彼岸ふれあいマラソンではないですが、佐波川の堤防上に国管理の管理道が往復2kmぐらいございますので、親子でいろいろふれあいながら走っていただけるようなイベントができればなあと計画しておりますので、特にかわまちづくりをするからということではないのですが、将来的に彼岸花が咲いているところをみんなで仲良く走っていくというのはいい企画なのかなと考えています。ただ、難点は川の方にトイレがないということですが、できるだけクリアしていきたいと考えております。

(会長)

ありがとうございました。国、県や市だけに頼むのではなくて、地元は地元として大変努力していただいているということで大変ありがたく思っております。今、C委員の話の中で、灌水エリアの少し上流の活用という話が出ましたが、事務局の方で何かありますでしょうか？

(事務局)

はい。今回の計画の中では左岸側の方に計画をさせていただいております。今、C委員の方から須川と剣川の河口のあたりというところでお話がありましたが、佐波川につながっているが、県管理の一級河川ということで、県や国土交通省と協議をしながら、何がいいのかということを検討していきたいと考えます。

それと二番目にあります二六台についてですが、私も一年ぶりに河川港湾課に戻ってきまして、二六台の上に久しぶりに上がったんですけども、眺望がとても良くて、すごく印象が残っております。ベンチとかいろいろくつろぎ空間など地元の方々と一緒になって考えていきたいと思っております。

(D委員)

2、3点伺いたいのですが、まずパドルエリアの水深はいくらぐらいなのか。というのも、東京多摩川の近くに住んでおりました、ボードセーリング

とかヨットとかやられている人を土手の上からみている。

それを散歩しながら、見るというのは東京都民の楽しみなのですが、結構佐野堰の水深に深さがあればいいんですが、わかりますか。

(E委員) 防府の土地改良区が管理しているのですが、このコンクリートの高さが1.8mあります。つまり、水が上を越していなければ、1.8mの水深があります。

(D委員) ヨットとかボートとかはせめて1m以上あれば十分かと思います。それとこの中で漁協の代表でいらっしゃるF委員さん、佐波川は釣りができるのでしょうか？

(F委員) 出来ますよ。

(D委員) パドルエリアのところで、鯉が釣れるのではないかと考える。釣り人のところには、釣りをしない人が見ているもので、釣り竿がぐっと曲がると人がそこに集まる。観客ができるので、そういった楽しみ方が、ヨットとかボートセーリングとかと同じように出来るようになるのではないかと思います。それともう1つ、二六台を登るということがありましたけども、二六台に鯉のぼりを揚げるということがありますけども、4月下旬から5月上旬まで、華城側のつつじが咲く頃に二六台を眺めていただくと素晴らしい景観だなと思っています。この辺からも佐野エリアをPRしておきたいと思っています。以上です。

(会長) 質問ということではなくていいですね。

(D委員) いいです。

(会長) 魚を釣るには漁業権というのがありますので、なかなか難しい問題ではあるかと思いますが。

(G委員) 二六台に行った事がないが、西側の方も眺望がよいのか？
西の方が見えるのであれば、夕日のスポットとかにPRができるのではないのか？あとパドルエリアの利用者に意見を聴くというのは誰に聞くのか？

(事務局) 最初に計画したときには、某スポーツ店の方が教室を開かれていると伺っております、それと山口県の方にこういう部があります。また、防府市の総合支援学校の方たちがここで練習されていると伺っております。

(会長) パドルエリアというのは直線で一番長いところでどの位か？

(事務局) 正確には把握しておりませんが、約200mと考えております。

(会長) 他にございませんでしょうか？いろいろと建設的なご意見をいただきました。今の華城・玉祖地区のエリア拡大というところで事務局から示されました利用計画案に若干本日いただいた意見を付け加えまして、国の方にかわまちづくりの変更申請を提出していただくということでよろしいでしょうか。

とくに華城・玉祖地区の両方ともに切実な願いであるトイレについては重点的に記載をしていただいて変更申請を提出していただくということで了解いただけますでしょうか。

(拍手)

- (会長) それでは、次第2-2の「その他」の議題に移らせていただきたいと思います。今年の春は桜本児童遊園も佐波川左岸の土手も綺麗にシバザクラが咲いたと思っておりますし、桜本児童遊園では、多くの子供たちが芝滑りを利用し過ぎて若干芝がくたびれて使用中止・養生中になっているくらい、うれしい悲鳴であったかなと思っております。来年度以降、引き続き新橋までの6箇所のシバザクラそして、円筒分水工などのライトアップなどいい景色が見られるかなと思っております。皆さんここで、事務局の説明がありましたことに質問なり提案なりございましたら、何なりとお願い致します。
- (A委員) シバザクラの計画は29年度に整備された後、新橋から下流側に延びるのか。それとも右岸側や上流側を行うのか、今後、どうなっていくのか伺いたい。
- (会長) 説明では本橋から新橋までということでしたが、それより下流あるいは上流に向かってその後の計画があるのかという質問でしたがよろしくお願ひ致します。
- (事務局) シバザクラについてのご質問ですが、この計画の中では本橋から新橋までの区間を予定しております、今後の計画については、いろいろなご要望を踏まえて、その時に考えて行きたいと考えております。現在、計画上ではこの区間を予定しております。
- (E委員) シバザクラは、洗掘に対して強度的に問題ないのか。というのは、昭和26年の頃に佐波川は制水工があつて、真ん中の水が速くなるように両土手から小さな羽根が出ていた。その当時、まだ新橋の路面は、線路の枕木のような木できていた。その時に私が佐波川に行ったときに土手の30cmぐらいまで水があつた。新橋の真ん中は1m以上、橋の上を水が越していた。その時は川幅も狭かったのですが、その後行政に入って、雨の時には若い者に「ちょっと新橋に行って水位を測って来い」ということで、量水盤があつたときに、昭和の30年から40年の間と思いますが、土手から50cmぐらいまで水が上がっていた。その時には堤防整備が進んでいたのだから、かなりの流速で土手側を水が流れてましたけど、今のシバザクラの根がどの程度、今から大水が出ないということはないと思いますので、それで対処ができるのか1つ検討しておく必要があるのではないかと思います。
- 大水が出たときにシバザクラで土手の洗掘が守れるのか、守れないとすれば、水が出たときに上流の方からシートを流すとかそういう準備を検討しておく必要があると考える。
- (会長) 新橋から下流についてはまだシバザクラというのは将来の話ということですから、答えることはできないかもしれませんが、本橋・新橋間が整備された

後に大雨によって、シバザクラで土手が守られるかどうか、あるいは津波で水が上がってくるのであれば、そこまで計算されているのかわかりませんが、事務局としてお答えできればお願いします。

(事務局) シバザクラが咲いている下の部分、ちょうどコンクリートとシバザクラの境目までが大水が出たときにそこまで水位が来ることが想定されるということで、堤防の法尻に護岸が貼っていますが、例えば仮にこれを超えた場合、想定しうる最大、もしくは、想定しきれないような雨が降った場合には、シバザクラも同じ芝の種類なので、根が絡んでいくというか簡単には飛ばされないような地被類、そういった植物を選んでおります。

(F委員) ちょっといいですか、佐波川にはちょうど新橋の位置のところに危険水位・警戒水位の標識がありますが、それがどの程度になるかどの辺りになるのか、それらをよく検討して、これからは大水が出ますからその辺もよく検討して欲しいと思います。

(会長) 他にございませんでしょうか？

(H委員) 私は富海に住んでいるんですけども、シバザクラのPRがあったのかどうかよくわからないんですけども、富海ではテレビに出て知ったという人が多くて、テレビで見たから見に行ったという人が多かったので、こういうことをやっているんだよということをもっとPRした方がいいかなと思います。せっかく広がっていくのならなおさら自慢になることだと思うので。

佐波川近辺に住んでいる方なら毎日、見れると思うのですが、遠方になると離れてしまっているのでは中々見ることができないのでそういう情報が市広報等で流れてくるとうれしいなと思います。円筒分土工についても特集を組んでいただけるといいことなので、ぜひこんな遊び場ができましたよではなくて、円筒分土工はどういうものなのか、何の働きをしているものなのかというところまで説明してもらえともっと親しみを持てるのではないのかなと思います。よろしくお願い致します。

(会長) ただいまは意見だと思いますので、今のご意見を踏まえて今後のPRに活かしていただければと思います。

(G委員) シバザクラのことなんですけれども、ずらっと全部ピンク一色でいくのかどうかというのを聞きたいのと、折角だから、新橋を渡ってくる車の位置から見える位置だと思うので、デザインがあった方が見た目からしてもいいと思うのですが、管理は大変かとは思いますが、それだったら良いかなと思うのと、あとはもし、今後も拡がるというのだったら、やっぱり新幹線から見える位置をやって欲しいなと思います。

新幹線で行っていると河川敷をデザインしているところもあるので、それを見ると良いかなと思うので、ここが防府だというのが一瞬の間だけでもわかるというのがあったらいいかなと思います。あとは、ライトアップのことなんですけども、円筒分土工という名前がとても大事だし、皆に知ってもらいたいというのはわかるんですけども、「ちょっと、円筒分土工のライトアップ見に行こう」というのは可愛くないなという気がするのでニックネームか何

かがあるといいかなと思いました。

あと、沈砂池（ちんしゃち）も呼びにくいので・・・。

何か、親しまれるニックネームがあって、正式名称があって、この正式な名前はこうだよって市民に知らせるとこうもっと遊びに行こうということになるのではないかと思います。

(E委員) 個人的には、「せっかく水があるのに魚がない」と言われることを心配している。あれだけ綺麗になったので色とりどりの鯉を放流してはどうかと思う。

(会長) いろいろな、意見が出ましたけれども、まず整理をいたしますと今から整備するシバザクラも赤一色かという質問がありました。

今までの会議の中でも花に文字を描いたらどうかというような意見もあったかと思いますが赤ばかりじゃなくてシバザクラも確か4色くらい種類があったかと思うので、そういった変化を持たせるのがいいのかどうかも含めて、もし検討しておられたら説明をお願い致します。

(事務局) まず、シバザクラの色ですが、今年度施工するところも含めまして、同色で最後までいきたいと考えております。ただ、現在、国土交通省さんと話を進めている中で、文字だったりデザインだったり一回目の協議会からそういった話が出ておりますので、どういったものかいいか、話し合いを進めています。

これについて1つ提案なんですけど、もし入れるとしたら、何がいいですか？

(E委員) 今の提案なんですけども、新橋左岸のブロックの中に新橋まで魚の絵が入っているんです。あれをボランティアで小学生や幼稚園児でもいいからもう少しわかりやすく清掃するなり、ペンキを塗るなりすれば、今の赤のシバザクラはすごく活きると思う。

(会長) 確かに、シバザクラの下にあるいは踊っているような形をしたアユの形をしているものがあるんですね。E委員からボランティアという意見もありましたが、ぜひせっかくあるものなので、何らかの方法で、復元できればよいかと思えます。

(事務局) シバザクラのデザインもしくは花文字を考えているんですけども、何がいいでしょうか？

(E委員) 周南市の大道理地区では、シバザクラを植えていますけれども、今から防府が提案するとすれば、梅鉢あるいは毛利様の家紋がよいかと思う。

(会長) 今、一に三ツ星とか梅鉢とかの案がありましたが、あんまりシバザクラの縦があまりないので、大きな図柄にはならないのではないかと思います。

(E委員) 文字とかは無理だから単純な図柄がいいのでは。下のアユの絵に対抗して、上のシバザクラは白でどうか。

- (会長) 他にこんなのをやったらどうかという案はないですか。
ないですか。
ちなみに佐波川のシバザクラが新幹線から見えるのでしょうか？
- (E委員) 低いから、手前の土手が邪魔になって見えない。高速道路はどうか？
- (D委員) 車からは見えてはいけないんです。
- (会長) 他に意見ないですか
- (J委員) 写真を見る限りすばらしいと思う。玉祖地域においてもこの計画ができればうれしいと思います。防府の宝にもなろうかと思っておりますので、春にはつつじ祭りではないんですが、イベント的なものを仕掛けて市民の方に来てもらうというようなことを継続していただければと要望します。例えば、春にはシバザクラのお祭り、秋には玉祖のお祭りというような形を継続してもらえればより親しみも湧くのではないかと思います。
- (会長) まあ、シバザクラが咲いた後、華城でつつじ祭りを佐波川の左岸で大崎橋の付近でやられていますし、で、今玉祖地区が提案されております彼岸花を植えようということで将来的には、秋にはシバザクラと同じように彼岸花が赤一面でという時代が来るのかもしれませんが、
あと、イベント的にはちょっとPRもさせていただきますが、副会長さんが実行委員長しておられますが、昨年初めて11月に遊々かわフェスタというのを行いました。舟橋もどきも好評でしたし、小野地区の方々のご協力で鯉のぼりを川に流させて頂きそれを本橋から眺めるというのも良かったという意見もいただいております。今年も第2回目をやる予定にしていますが、佐波川はアユとの関係がありまして、11月に入らないと川に入るとのイベントができないと漁業権の関係もあって、今年も11月5日を予定しております。
楽しいイベントにしたいと思っておりますのでぜひお越しいただくとありがたいかなと思っております。
他にございませんか。
- (D委員) 円筒分水工は、春夏秋冬を連想させる色彩というんですけれどもそれぞれの四季でライトの色が変わりますか？それとも同じ色ですか？
- (事務局) 色はランダムにいろいろと変えられます。
- (D委員) G委員の意見にもありましたが、デートスポットにするというのはよい発想だと思います。また、E委員の意見で、ここに鯉を放そうという意見もありましたが、多分女性的な感覚だと思うのですが、男性でも支持したいと思えます。照明も素晴らしいと思いました。
- (会長) 鯉を入れることに関して、土地改良区としては差し支えはないですか？
- (E委員) ありません。

(F委員) 会長さん、鯉はヘルペスがあります。まあ、観賞用として入れるのには問題ないでしょうけども。

(会長) まあ、しかし、色がついた魚の方が見栄えがしてよいですね。ふなでは面白くないですね。

夢のある発言がどんどん出てきて話がつかないですが、他にご意見ございませんでしょうか？

円筒分水工の夜間照明も大変おもしろいでしょうし、デートスポットもすぐ近くにも新しい住宅団地ができておりますので、その住宅団地の方々への説明もぜひ抜かりのないようお願いをしたいと思います。

いろいろと貴重なご意見を賜りました。皆さん、佐波川に対する強い思いも頂いて事務局も大変参考になったかと思えます。

どうも今日のご協力ありがとうございました。